

再 評 価 調 査 書

| I 事業概要 | | | | | |
|------------|--|---|---------------------------------------|---------|------|
| 事業名 | 砂防等事業(急傾斜地崩壊対策事業) | | | | |
| 地区名 | おいだいらくいき 老平区域 | | | | |
| 事業箇所 | きたしたらくんとよねむらのおおあざかみくろかわちない 北設楽郡豊根村大字上黒川地内 | | | | |
| 事業のあらまし | 当該区域は、避難所2戸(指定避難所)、豊根ケアセンター(要配慮者利用施設)、豊根村診療所及び職員寮1戸を有するがけ高 40m、勾配 60° の急傾斜地である。がけ崩れの危険性の高い区域であり、人命を守るために早急な防災対策が必要な箇所であった。そのため、2012 年度より事業に着手した。 | | | | |
| 事業目標 | 【達成(主要)目標】 ・避難所2戸(指定避難所)、豊根ケアセンター(要配慮者利用施設)、豊根村診療所及び職員寮1戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・なし。 | | | | |
| 計画変更の推移 | | 事業採択時 (2012) | 再評価時(1回目) (2020) | 変動要因の分析 | |
| | 事業期間 | 2012 年度～2024 年度 | 2012 年度～2024 年度 | なし | |
| | 事業費(億円) | 4.65 | 4.65 | | |
| | 経費内訳 | 工事費 | 3.79 | | 3.79 |
| | | 用補費 | 0.06 | | 0.06 |
| その他 | | 0.80 | 0.80 | | |
| 事業内容 | 擁壁工等 L=390m | 擁壁工等 L=390m | | | |
| II 評価 | | | | | |
| ①事業の必要性の変化 | 1) 必要性の変化 | 【事前評価時の状況】 ・避難所2戸(指定避難所)、豊根ケアセンター(要配慮者利用施設)、豊根村診療所及び職員寮1戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保全する必要がある。 【再評価時の状況】 ・保全対象等に変化はない。 【変動要因の分析】 ・なし。 | | | |
| | 判定 | B A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 | 【理由】 ・事業着手から必要性について変化はないため。 | | |

1) 進捗状況

【事業計画及び実績】

| | | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 合計 |
|-------------|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 工種 区分 | 調査・設計 | ← | | | → | | | | | | | | | | |
| | 用地補償 | | | | | ← | | → | | | | | | | |
| | 工事 ・擁壁工 | | | | | ← | | | | | | | | | → |
| 事業費 (億円) | 当初計画 | 0.68 | | | | 2.40 | | | | 1.57 | | | | 4.65 | |
| | 実績 | 0.52 | | | | 1.86 | | | | | | | | 2.38 | |
| | 今回計画 | 0.52 | | | | 2.40 | | | | 1.73 | | | | 4.65 | |

【進捗率】

| | これまでの計画に対する達成状況 | | | 全体進捗率 | |
|---------|-----------------|-----------|------------------|-----------|------------------|
| | 計画 【①】 | 実績 【②】 | 達成率 (%) 【②÷①】 | 計画 【③】 | 達成率 (%) 【②÷③】 |
| 延長(km) | 0.39 | 0.08 | 20.5 | 0.39 | 20.5 |
| 事業費(億円) | 4.65 | 2.38 | 51.2 | 4.65 | 51.2 |
| 工事費 | 3.79 | 1.58 | 41.7 | 3.79 | 41.7 |
| 用補費 | 0.06 | 0.06 | 100.0 | 0.06 | 100.0 |
| その他 | 0.80 | 0.74 | 92.5 | 0.80 | 92.5 |

【施工済みの内容】

・擁壁工 L=80m

2) 未着手又は長期化の理由

・なし

3) 今後の事業進捗の見込み

【阻害要因】

・特になし。

【今後の見込み】

・特に阻害要因がないため、今後は予定どおりの事業進捗が見込める。

判定

A

A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。

B： 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)

・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。

・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。

・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。

C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。

【理由】

今後、計画通りの完成が見込まれるため。

III 対応方針

継続

中止: 上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。

継続: 上記以外のもの。

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後 5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・急傾斜地崩壊防止施設と保全対象の状況から、事業効果を確認する。